

平成17年度北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞受賞者

【省エネルギー部門】

省エネルギー大賞

株式会社 北海道熱供給公社

【取組内容】

「CGS活用型地域熱供給システム」

道庁南エネルギーセンターにおいて、勇払ガス田産の天然ガスを使用したコージェネレーションシステムを導入し、アーバンネット札幌ビルに電力及び冷温熱を供給を行うほか、近郊のホテルや病院に対する冷温熱の供給を行っている。

【選考理由】

道内初となる高圧受電における「逆流有り」の系統連系を実施し、発電効率の高い希薄燃焼ミラーサイクルガスエンジンを採用すること等により、高い総合エネルギー効率を実現した。

また、徹底した排熱回収を行っており、寒冷地の特性に応じた地域熱供給プラントとして、啓発効果が大きいものと評価される。

連絡先：〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目1-2 アーバンネット札幌ビルB1 011-233-0001
--

奨励賞

株式会社 アレフ

【取組内容】

「地中熱ヒートポンプによるレストランの省エネルギー」

道内の新築店舗に地中熱ヒートポンプを実証導入し、レストランの空調に係るCO₂排出量及び光熱水費を大幅に削減した。

また、独自の環境行動計画を策定し、省エネルギー設備の積極的な導入や、現場レベルでの運用面における省エネルギー活動に取り組んでいる。

【選考理由】

全社を挙げた省エネルギー活動を推進し、地中熱ヒートポンプの導入等によって、レストランの省エネルギー化を実現した。

飲食店は、エネルギーを多消費になりがちであり、特に寒冷地の本道においては、暖房に係るエネルギーが不可欠であることから、株式会社アレフの取組は、省エネルギーと環境に配慮した飲食店づくりの模範的な事例となるものであり、広く外食産業への波及効果が期待される。

連絡先：〒003-8515 札幌市白石区菊水6条3丁目1-26 011-823-8301

【新エネルギー部門】

新エネルギー大賞

財団法人 十勝圏振興機構

【取組内容】

「寒冷地におけるバイオエタノール混合自動車燃料の導入に関する技術開発事業」

植物由来のバイオエタノールを3%混合したガソリン(E3燃料)について、乗用車や農業機械への実用化を図るため、寒冷環境下におけるE3の性質調査、水との親和性に関する試験等を行い、また、公用車による公道試験を実施して、地域への啓発に努めている。

【選考理由】

地域資源を活用したバイオエタノールの実用化のための実証試験であり、大規模畑作地帯に根ざした寒冷環境下での実証モデルとして、先進性及び道民への啓発効果が高いと評価される。

連絡先：〒080-2462 帯広市西22条北2丁目23-9
0155-38-8808

奨励賞

有限会社 コーンズ・エコファーム

【取組内容】

「バイオガスプラント」

家畜糞尿の嫌気発酵処理により発生するバイオガスを利用したシンプル構造のバイオガスプラントを導入し、電力及び温水を場内で活用するとともに、余剰電力を売電。

また、発酵後の消化液を有機肥料として活用し、循環型の酪農経営を行っている。

【選考理由】

プラントメーカー独自のノウハウや経験を活かし、環境負荷を大幅に軽減した効率的な酪農経営を実現したものであり、バイオマス資源の積極的な活用及び技術開発の取組は、広く道内への普及に寄与することが期待される。

連絡先：〒059-1365 苫小牧市字植苗100-3
0144-58-2188